



地域の方が見守ってくださる中
「おはようございます」
と元気な声であいさつ。
集団登校の一場面です。

「早ね・早おき・朝ごはん」
の提唱者、陰山英男先生は、著書の中
で次のように書かれています。



きていること、朝食をほとんど食べないこと、テレビを5時間以上見るなどなどは、恐ろしいほどに、その子の成績や知能指数を下げていました』

成長に必要なホルモンは、夜寝ている間に分泌されます。

幼児期には、遅くとも夜9時には寝かしつけることがポイントだそうです。テレビを消し、絵本の読み聞かせなどをして寝かしつける習慣は、情緒の安定も図ることができ、一石二鳥の方法だと思っています。

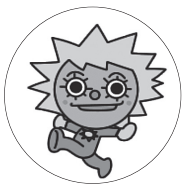
上分小中学校でも、生活リズム調査などに定期的に取り組み、ご家庭や地域の皆様のご協力もあり、子どもたちは、毎朝明るく元気いっぱいに登校しています。

上分小中学校 校長 近澤玲子

お子さんの写真を募集します。

就寝時・起床時・食事風景・遊び・家族とのふれあいなど、子どもさんが主人公となる写真（家族と一緒でもOK）を募集します。

須崎市教育研究所
☎40・0078



はやおきくん
©やなせたかし



▲木造聖観音立像

鍛冶町 にある発生寺の中に、木造聖観音立像が収められています。

木造聖観音立像は、発生寺の本尊で、高さ85・1cm、桧材の寄木造り。右手を胸前に立てて第一指と第三指・第四指を捻じ、左手は腹前に曲げて蓮華を持っています。また、天衣を両腕より垂らし、右足を少し踏み出して蓮華九重座に立っています。

光背・台座は後補のようですが、製作様式から鎌倉時代のものでしょうか。

以前は、天冠台より上部の宝髻（ほうけい）が切り取られ、後補の拙作な十一面を付加していたので、木造十一面観音立像という名称でした。しかし、当初は聖観音像であったと推定されるため、昭和60年に財団法人美術院で修理が行われ、形状と名称が不適合になり、現在の木造聖観音立像という名称に変更されました。

すさぎの文化財

発生寺の仏像
鍛冶町

その四十八